



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより
1月号
令和5年1月10日(火)

食の学び

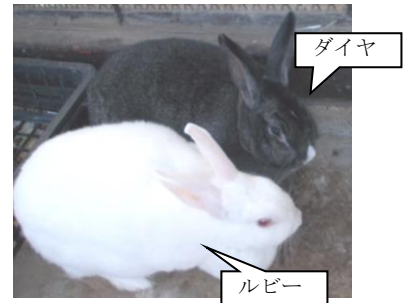
校長 倉本 恵

令和5年が始まり、早10日。皆様はどのようなお正月を過ごされましたか？

今年の干支は卯（うさぎ）。普段は飼育委員会児童が毎日世話をしている本校のうさぎのルビーとダイヤですが、冬休み中は職員が交代で世話をし、元気に新年を迎えました。

子どもたちにとっては、今までになく長い冬休みとなりました。私はコロナの感染が増大せず、本校の第4期が無事にスタートできることを願いつつ、この学校だよりを書いています。

皆様、今年もよろしくお願いたします。



12月2日、3日に行われた「丸小フェスタ」は、本校の教育の特色のひとつである「食の学び」をモチーフにした、各学年の学習内容を伝える行事です。今回も残念ながら、広く地域の方をお招きすることができませんでしたが、各学年の様子は中面に掲載しましたので、どうぞご覧ください。

冬休み中に松の内が開け、明日は鏡開き。「食の学び」を進める職員や子どもたちと過ごしていると、私自身も以前に比べ「食」によく目が向くようになりました。1月7日にはベランダのプランターで育てた小さい「すずしろ」を入れて七草粥をたいてみました。

さて、今月は「給食週間」が設定されています。

～学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後の昭和21年(1946年)12月24日に東京都内の小学校でLARA(アジア救済連盟)からの給食用物資の贈呈式が行われそれ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。(文部科学省HPより抜粋)～

横浜市では1月24日を挟む1週間を「給食週間」としており、本校は1月23日から27日を今年度の給食週間として、給食委員会児童と職員を中心に取組を行います。(取組内容は裏面に掲載)

コロナ禍で、わたしたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化しました。その中でも、安全安心な給食提供に向けて、日々工夫や努力をしている生産者の方々、献立作成や調理に携わる方々等の思いや願いを知る機会にしたいです。

そして、給食だけでなく、毎日の食事や食材にも興味をもち、健康な身体づくりのためにどのようなものをどのように「食べる」とよいか、子どもたちが自分で考え実践することにつながってほしいです。

皆様もこの機会にぜひ「食」を見つめてみてください。

冬休み明けの登校見守りについて

1月10日(火)から13日(金)まで集団登校を実施し、この期間はPTA校外委員さんが中心となり、保護者の方々が登校の見守り活動を行います。各自の登校が始まる16日(月)から5日間は、保護者の方と職員で分担して見守り活動を行います。

年間を通して学区内3か所の交差点で見守り活動をしてくださっている長寿会の方々にも感謝しつつ、安全に気を付けて登校してください。